

ぐんぐん通信



地域支援センターぐんぐん
福島県立郡山支援学校内
令和4年3月15日発行

こんな時だからこそ

教育支援部部長 鈴木郁子



新型コロナウイルス感染症の流行が始まって、もう2年になります。マスクにも、「ウィズ コロナ」なる言葉にもすっかり慣れてしまいましたが、会いたい人たちとなかなか会えない物足りなさにはなかなか慣れないものです。

教育支援部及び地域支援センターの仕事は、「つなぐこと」です。今年度も教育相談や、地域の会議や施設への支援を行ってきましたが、リモート会議が増えるなどコロナの影響を感じました。未就学児の保護者さんの参加を広く募る「キラキラ教室」も、感染状況を見ながら、2回のみの実施となってしまいました。

しかし、直接会えなくても何らかの方法で、ぐんぐんを必要とする人とつながりたいと考え、今年度から「キラキラ教室」で扱うような情報を「キラキラ WEB 教室@home」として、本校 HP 上で発信しています。今年度は「学校での医療的ケアって」「安全でおいしく楽しい食事」「ICT を活用した教材」「身体・姿勢」「教材・教具」「言葉を育てる」等のテーマについて紹介しました。

A4 サイズ1枚で「見やすく、分かりやすく」をモットーに今後も発信していきたいと思ひます。

「こんな時だからこそ」の発想で生まれた「キラキラ WEB 教室@home」、どうぞよろしくお祈ひします。

「キラキラ WEB 教室@home」
はこちらからどうぞ ↓



～各種会議等の報告～

地域支援アドバイザー 高坂均

① 「医療的ケア児等の支援」に関するワーキンググループ

医療的ケア児等が医療機関から退院後、地域で安心して生活できるよう「郡山市医療的ケア児等生活支援調整の手引き(通称:いけあキッズ郡山ルール)」が策定され、令和3年11月より運用開始されました。データ等は郡山市ウェブサイトに掲載してありますのでご覧ください。なお、次年度は、支援ガイドブック作成に取り組む予定です。併せて災害時ガイドブックも完成させる予定です。

② 郡山市障がい者自立支援協議会子ども支援部会

お子さんの育ちを支えるための記録である「郡山市子育てサポートブック」について、今まで以上に活用できるよう内容や活用・啓発方法について見直しを検討してきました。

尚、サポートブックは障がい福祉課・各行政センター・関係機関等の窓口で配布しています。また郡山市ウェブサイトからもダウンロードできます。ご活用ください。

③ 郡山市地域子育て支援センター訪問

「ニコニコこども館」のサテライト施設である5支援センターのなかの北部と南部の支援センターを月1回訪問し、子育てやことばの獲得に関する情報を提供してきました。また保護者や職員と発達障がいについての話し合いをする機会が増えました。



パラリンピックを振りかえって！

～障がい者スポーツの動向～

平成23年、スポーツ基本法で「障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類や程度に応じて必要な配慮をし推進する」と、初めて障がい者スポーツの基本が規定されました。それを受け、年齢や性別、障害等を問わず、広く人々がスポーツに参画することができる環境を整備することが課題となりました。健常者も障がい者も共に利用できるスポーツ施設のあり方や競技性の高い障がい者スポーツのアスリート発掘・育成・強化等も必要となってきます。

障がい者スポーツに着目すれば、健康・体力の保持増進の一つとしてリハビリの役割、そして、健常者と障がい者が一緒にスポーツレクリエーション活動を行うことによるノーマライゼーションの考え方や共生社会の実現といった社会の姿を目指すことも重要になります。

